

## 1. 但馬救命救急センターの理念・特色

当センターは、救急対応、重症対応を専門とした救急医が、24 時間、365 日救急車応需、他院からの転医依頼、院内急変などに対応している。北近畿唯一の救命救急センターとして、緊急手術対応、重症患者対応、集中治療対応を一貫して行っている。また、2010 年 4 月よりドクターヘリの運航、2010 年 12 月よりドクターカーの運行も開始している。ドクターヘリ、ドクターカー共に、救急医が病院前から治療を開始するシステムは、救急医療過疎の当地域には非常に有用な医療システムであることが証明され、救命率向上、後遺症軽減に貢献している。当センターは病院前救急診療から根治的治療、集中治療、退院後の外来通院までをカバーする、日本でも数少ない救命救急センターのスタイルをとっており、本体制が重症外傷、内因性疾患(特に敗血症)の入院時予測生存率に対する実生存率を大きく改善させている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

救急／急性傷病について、軽症から重症まで、内因・外因、老若男女を問わず、病院前救急診療(ドクターヘリ、ドクターカー)・初療対応・ICU 管理・一般病棟管理・外来診療まで一貫した診療を行うことができ、かつ重症患者に対しては救命救急処置／根治的治療／集中治療を行うことができる救急科専門医となること。

### 間口の広い、奥行き深い救急医育成

病院前から退院まで  
老若男女  
1次から3次まで  
兵；手を下し，将；手を下させ  
Research Mind；学会発表と論文



### イ. 経験できる診療、技術

内因性、外因性問わず、軽症(WALK IN)から重症患者の初期診療と治療(根治的治療および集中治療管理)にあたります。その中から診断学、治療学(特に集中治療学、外傷初期診療)を学びます。

「救急医療は現場から始まる！」ドクターヘリ、ドクターカーによる病院前救急診療を学びます。勤務年数、初療対応経験などを考慮した上で、まずは指導医と共に救急現場に出ます。on the job training の後に 1 人立ちとなります。

並行して、ICLS、JPTEC、JATEC、DMAT、MCLS、PSLS など地域メディカルコントロール協議会、学会、公的機関の認定した off the job training 資格の取得を進めます。

救急集中治療はこれだけで 1 つの speciality ですが、より深く 1 つの分野を極め「質の保証された」治療を提供するために他科の修練も可能です。

また、連携施設との人事交流も必修です。但馬救命救急センターでは、1 人 1 人の目標に応じた救急医療の研修が可能です。

### 1 年目

#### ①到達目標

内因・外因を問わず多様かつ豊富な救急症例を経験しながら、診療に必要な内科的・外科的手技を実践し、救急医としての基礎(初療対応、ICU 管理、消防活動の理解など)を確立します。

#### ②研修計画

- ・ 基本的診療能力(コアコンピテンシー)
- ・ 救急診療における基本的知識・技能
- ・ 集中治療における基本的知識・技能
- ・ 病院前救護・災害医療における基本的知識・技能
- ・ 3 ヶ月間の麻酔科ローテーション・兼務による研修

### ③研修内容

指導医とグループおよびペアを組み、救命救急センター内の業務を担当します。指導医の監督の下、担当医として初期治療から退院・転院までの診療を行って実績を積みみます。

### ④指導体制

但馬救命救急センターは公立豊岡病院に附設し、15名を超える救急指導医、専門医、および救急集中治療科スタッフが専従、毎朝のカンファレンス、回診で救急集中治療科全患者の病態、治療について検討を行い経験の共有化を図っています。

また、専従医以外でも、24時間365日体制で症例に応じて全科の専門医が急性期診療に参加します。このような体制で、指導には救急科専門医、各診療科の専門医が担当し、常に最新の診断・治療の知識・技術を習得できます。

## 2年目

### ①到達目標

救急医としての知識・経験と技術を向上させ、初期臨床研修医、救急救命士、他職種に対して指導ができること、病院前救急診療(ドクターカー)の研修を通じ、その必要性・特殊性を修得することを目標とします。

### ②研修計画

- ・ 基本的診療能力(コアコンピテンシー)
- ・ 救急診療における応用的知識・技能
- ・ 集中治療における応用的知識・技能
- ・ 病院前救護・災害医療における応用的知識・技能
- ・ 病院前救急診療(ドクターカー)による基礎研修
- ・ 連携施設における小児分野、地域救急医療分野による研修

### ③研修内容

病院前救急診療(ドクターカー)は指導医と共に診療を行います。初療は単独で初療対応を行います。ICU、病棟ともに責任医師として単独診療を行います。担当症例の緊急手術時は助手を、ICUにおける処置、手術では術者を担当します。

カンファレンス、回診では積極的に討論に参加し、診療方針決定に関与します。地域メディカルコントロールにおける検証表作成に初療担当医として関与し、地域における救急医の役割を経験します。

### ④指導体制

病院前救急診療(ドクターカー)は指導医と共に診療を行います。初療は単独で初療対応を行います。ICU、病棟ともに責任医師として単独診療を行います。いずれもカンファレンス、回診などを通じて救急集中治療科に所属する救急指導医、救急科専門医、専従スタッフによって診断、診療方針に関する適切な助言を受けます。

## 3年目

### ①到達目標

救急医としての知識・経験と技術を確立させ、メディカルコマンダーとして救命救急センターの診療運営が実施できるようになること、病院前救急診療(ドクターヘリ、ドクターカー)は指導者と共に医師、看護師の指導ができるようになること、地域医療や行政における救急医の役割を理解することを目標とします。

### ②研修計画

- ・ 基本的診療能力(コアコンピテンシー)
- ・ 救急診療における実践的知識・技能
- ・ 集中治療における実践的知識・技能
- ・ 病院前救護・災害医療における実践的知識・技能
- ・ 病院前救急診療(ドクターヘリ・カー)における実践的研修
- ・ 必要に応じて他科ローテーションによる研修

### ③研修内容

病院前救急診療(ドクターヘリ、ドクターカー)は実質的な診療担当医師となります。初療診療では責任医師として診断、治療方針の決定、初期研修医への指導などを担います。

集中治療室の診療運営の中心的・指導的役割を担います。担当症例の緊急手術時は症例に応じた術者、助手を、ICU における処置、手術では指導的術者を担当します。カンファレンス、回診時における診療方針決定に関与するとともに、他職種、他科との連携中心を果たします。地域メディカルコントロールに専門医とともに出席し、地域における救急医の役割を経験すると共に検証作業に従事します。

#### ④指導体制

カンファレンス、回診などを通じて救急集中治療科に所属する救急指導医、救急科専門医、専従スタッフによって適切な助言を受けます。

3年間を通じて各種医学教育コースを積極的に受講するとともに、インストラクター資格の獲得を目指します。特にDMAT研修は必須とします。救急医学、集中治療学、外傷外科学、病院前救急診療医学などに関する全国学会で年1回以上の発表、地方会で年1回以上の発表を行います。また論文(英文、日本語問わず)作成を推奨します。

### 3. 週間予定

TECCMC SCHEDULE

	月	火	水	木	金	土	日
8:00 ~ 8:15	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)	・ドクターヘリ、ケース スタッフフリーフィング・ 点検 (CS, ヘリポート、 カー)
8:00 ~ 8:30	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)	・初療申し送り (全動→ 日動) ・ICU/HCU退出候補決定 (全動責任者)
8:30 ~ 9:30	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例 ・一般病棟全患者検討	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例 ・抄読会 (ジャーナルクラブ)	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例	・カンファレンス 前日救急科入院患者 申し送り 連絡事項 前日ヘリ・カー症例 ・一般病棟全患者検討
カンファレンス終了後 ~ 10:00	回診 ICU/HCU	総回診 全病棟	回診 ICU/HCU	回診 ICU/HCU	総回診 全病棟	回診 ICU/HCU	総回診 全病棟
	回診方法: ベッドサイドでのプレゼンテーションは最小限で、必要に応じ診察を行う。 ☆回診責任者 センター長不在時は当日全日勤務責任医師が代役 ☆回診参加者 前日・当日勤務中の医師 日勤医師は初療対応優先						
10:00 ~ 12:00	診療	診療	診療	診療	診療	診療	診療
12:00 ~ 12:30				ランチョンミーティング ☆薬説明会 (適宜)	ランチョンミーティング ☆M&Mカンファレンス (ICUにて、看護部合同、 適宜)		
12:30 ~ 17:30	診療	診療	診療	診療	診療	診療	診療
17:30 ~ 18:00	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診	申し送り (日動→全動) ・初療診療中の患者 ・日動入院患者 ・ヘリ終了まで日勤者の 1人は居残り 全動責任者は夕方回診
18:00 ~ 翌8:00	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・	診療 夜は更けてゆく・・・

### 4. 指導医・スタッフ

センター長兼部長 こばやし まこと  
(広域調整担当) 小林 誠人

センター長 ながしま ふとし  
兼部長 永嶋 太

出身 鳥取大学 H6

出身 佐賀医科大学 H11

鳥取大学医学博士 H13

佐賀大学医学博士 H31

専門	救急医学、集中治療学(特に敗血症、急性血液浄化療法、モニタリング)、救急・外傷外科学、病院前救急医療学、災害医学、医学教育
認定	日本救急医学会指導医・専門医・評議員、日本集中治療医学会専門医・評議員、日本外科学会指導医・専門医、日本外傷学会専門医・評議員、麻酔科標榜医、日本航空医療学会認定指導者・評議員、日本腹部救急医学会腹部救急暫定教育医・評議員、日本急性血液浄化学会認定指導者・評議員、日本shock学会評議員、日本集団災害医学会評議員、日本臨床救急医学会評議員、日本Acute Care Surgery学会認定外科医・評議員、日本病院前救急診療医学会評議員、日本救急医学会近畿地方会幹事、日本集中治療医学会近畿地方会評議員、日本熱傷学会近畿地方会世話人、但馬地区MC協議会会長、京都大学医学部臨床准教授、日本DMAT隊員・統括DMAT、臨床研修指導医

専門	救急医学、集中治療学、救急・外傷外科学、病院前救急医療学、災害医学、医学教育
認定	日本救急医学会指導医・専門医、日本集中治療医学会専門医、日本外科学会専門医、日本外傷学会専門医、日本Acute Care Surgery学会認定外科医、日本航空医療学会認定指導者、日本DMAT隊員・統括DMAT、臨床研修指導医

まつい だいさく  
医長 松井 大作

出身 久留米大学 H17

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,熱傷,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

ぼんしょうたに ゆき  
医長 番匠谷 友紀

出身 滋賀医科大学 H17

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本集中治療医学会専門医,日本外科学会専門医,日本外傷学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

ふじさき おさむ  
医長 藤崎 修

出身 鹿児島大学 H20

専門	救急医学,集中治療学,総合内科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,ICD,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

はまがみ ともひろ  
医長 濱上 知宏

出身 愛媛大学 H20

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本外科学会専門医,日本Acute Care Surgery学会認定外科医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医,日本医師会認定産業医

ごとう たもつ  
医長 後藤 保

出身 鳥取大学 H20

専門	救急医学,集中治療学,小児救急・集中治療学,一般小児科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本集中治療医学会専門医,日本小児科学会専門医・指導医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

たかす これひと  
医長 高須 惟人

出身 三重大学 H20

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,消化器外科学,病院前救急医療学
認定	日本外科学会専門医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

わたなべ たかあき  
医長 渡邊 隆明

出身 東京大学 H21

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,消化器外科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

やすだ ゆいと  
医長 安田 唯人

出身 信州大学 H24

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医

ひぐち りょう  
医長 樋口 遼

出身 昭和大学 H25

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本DMAT隊員

まつむら けいすけ  
医員 松村 圭祐

出身 宮崎大学 H26

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,麻酔科標榜医

たにぐち だいすけ  
医員 谷口 大介

出身 神戸大学 H26

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
----	---------------------

とくだ りな  
医員 徳田 理奈

出身 京都府立医科大学 H27

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学
----	------------------------------

やまおか ゆき  
専攻医 山岡 由季

出身 神戸大学 H28

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
----	---------------------

はなふさ ひろあき  
専攻医 華房 宏成

出身 金沢大学 H28

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
----	---------------------

よしだ あきら  
専攻医 吉田 陽

出身 山口大学 H28

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
----	---------------------

かきざき ゆみ  
専攻医 柿崎 結美

出身 愛知医科大学 H28

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
----	---------------------

さかと しんや  
専攻医 坂戸 真也

出身 鳥取大学 H29

専門	救急医学,集中治療学
----	------------

はぎはら たかひろ  
専攻医 萩原 尊礼

出身 鹿児島大学 H30

専門	救急医学,集中治療学
----	------------

## 5. 診療設備等



ドクターヘリ(AIRBUSHELICOPTERS EC135) / ドクターカー



DMATカー

## 6. 診療実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
救命救急センター受診患者数	15,604人	16,136人	15,904人	15,899人
救急搬送患者数	6,088件	6,513件	6,358件	6,368件
(救急車)	3,839件	3,840件	3,852件	3,925件
(ドクターヘリ)	1,369件	1,533件	1,418件	1,249件
(ドクターカー)	880件	1,140件	1,088件	1,194件
ウォークイン	9,516件	9,623件	9,546件	9,531件
救命救急センター入院患者数	3,671人	3,825人	3,703人	3,798人
救急科	1,460人	1,597人	1,561人	1,588人
他科	2,211人	2,228人	2,142人	2,210人

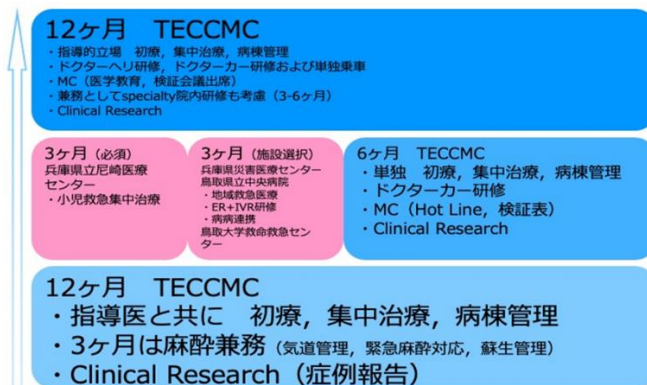
## 7. 学会認定施設

- 日本救急医学会指導医指定施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本航空医療学会認定制度指定施設
- 日本急性血液浄化学会指定施設
- NCD 参加施設

## 8. 基幹プログラム

### 公立豊岡病院(但馬救命)救急科全次対応研修プログラム

### 研修プログラム基本モジュール



### 連携施設 (基幹)



### プログラム・資料に関する問い合わせ先

- TEL** 0796-22-6111(代表) **FAX** 0796-22-0170
- e-mail** teccmc@gmail.com (救命センター)  
kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp (教育研修課)
- website** <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/> (病院)  
[http://www.geocities.jp/tajima\\_eccmc/index.html](http://www.geocities.jp/tajima_eccmc/index.html) (救命センター)

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094

公立豊岡病院但馬救命救急センター/公立豊岡病院 教育・診療支援部 教育研修課